

資 料 編

北海道原子力防災訓練の実施状況（昭和63年度～平成24年度）

年度 項目	63	元	2
訓練目的	原子力防災に関する防災体制の確立と防災業務関係者の防災技術の向上を図り、併せて防災意識の高揚を図る。		
訓練態様	総合訓練 【国・道・地元4町村及び防災関係機関が中心となり、住民の協力のもと、事故発生から終息までの一連の経過のなかで、各種訓練を有機的に機能させる、国の支援体制を含めた訓練】		
訓練実施日	昭和63年10月15日（土）	平成元年11月9日（木）	平成2年10月30日（火）
訓練時間	9:00～13:00	9:00～13:35	9:15～16:35
参加機関	21 機関	27 機関	26 機関
参加人員	▽1,032人 [防災業務関係者 561人] [住民参加者 471人]	▽1,347人 [防災業務関係者 795人] [住民参加者 552人]	▽1,330人 [防災業務関係者 770人] [住民参加者 560人]
事故想定	（放射性物質の放出）	一次冷却系事故	一次冷却系事故
訓練項目 （訓練内容）	1 緊急時通信連絡訓練 2 災害対策本部等設置訓練 3 緊急時環境放射線モニタリング訓練 [測定 78地点] 4 広報訓練 [道 4回、町村 4回] 5 退避等訓練 [参加住民] <input type="checkbox"/> 泊 村 99人* <input type="checkbox"/> 共和町 256人 <input type="checkbox"/> 岩内町 70人 <input type="checkbox"/> 神恵内村 46人 （※内56人広域避難） 6 緊急時医療措置訓練 [救護所2か所、16人措置]	1 緊急時通信連絡訓練 2 災害対策本部等設置訓練 3 緊急時環境放射線モニタリング訓練 [測定 60地点] 4 広報訓練 [道 5回、町村 4回] 5 退避等訓練 [参加住民] <input type="checkbox"/> 泊 村 163人* <input type="checkbox"/> 共和町 260人 <input type="checkbox"/> 岩内町 74人 <input type="checkbox"/> 神恵内村 55人* （※内85人広域避難） 6 緊急時医療措置訓練 [救護所1か所、8人措置] [患者搬送2人、除染2人]	1 緊急時通信連絡訓練 2 災害対策本部等設置訓練 3 緊急時環境放射線モニタリング訓練 [測定 71地点] 4 広報訓練 [道 5回、町村 4回] 5 退避等訓練 [参加住民] <input type="checkbox"/> 泊 村 101人 <input type="checkbox"/> 共和町 217人 <input type="checkbox"/> 岩内町 170人 <input type="checkbox"/> 神恵内村 72人 6 緊急時医療措置訓練 [救護所1か所、8人措置] [患者搬送1人、除染1人]
防護対策 地 区	▽想定風向 西(W) 発電所中心に全方位1km及び東北東、東、東南東の1～5km	▽想定風向 南南東(SSE) 発電所中心に全方位1km及び北、北北西、北西の1～5km	▽想定風向 北北西(NNW) 発電所中心に全方位1km及び南、南南東、南東の1～6km

年度 項目	3	4	
訓練目的	原子力防災に関する防災体制の確立と防災業務関係者の防災技術の向上を図り、併せて防災意識の高揚を図る。		
訓練態様	トータルトレーニング (全体訓練) 【63、元、2年度と同じ】	テクニカルトレーニング (専門訓練) 【防災業務関係者の防災技術の習熟を重んじ、地域の実情にあった、道、関係町村及び各防災関係機関が単独又は複数が協力して実施する訓練】	
訓練実施日	平成3年11月14日 (木)	平成4年9月18日 (金)	平成5年2月9日 (火)
訓練時間	9:10~15:10	7:00~11:10	9:10~15:10
参加機関	27 機関	10 機関	40 機関
参加人員	▽1,306人 (実人員 1,150人) [防災業務関係者 827人] [住民参加者 479人] (実人員 323人)	▽1,166人 (実人員 485人) [防災業務関係者 1,166人] (実人員 485人)	▽847人 (実人員 780人) [防災業務関係者 721人] (実人員 681人) [住民参加者 153人] (実人員 99人)
事故想定	一次冷却系事故	一次冷却系事故	一次冷却系事故
訓練項目 (訓練内容)	<ol style="list-style-type: none"> 1 緊急時通信連絡訓練 2 災害対策本部等設置訓練 3 緊急時環境放射線モニタリング訓練 [測定 63地点] 4 広報訓練 [道 5回、町村 4回] 5 退避等訓練 (1) 住民退避・避難訓練 [参加住民] □泊 村 277人 (実人員 222人) □神恵内村 202人 (実人員 101人) (内156人広域避難) (2) 退避所開設準備 □共和町 10か所 □岩内町 2か所 6 緊急時医療措置訓練 [救護所1か所、8人措置] [患者搬送1人] 	<ol style="list-style-type: none"> 1 通信連絡訓練 2 災害対策本部等設置訓練 3 防災要員非常招集訓練 4 防災要員現地本部参集訓練 5 災害弱者数等把握訓練 (13:00~15:00) 6 防護資機材取扱訓練 	<ol style="list-style-type: none"> 1 緊急時通信連絡訓練 2 避難経路確認訓練 3 緊急時環境放射線モニタリング訓練 [測定 70地点] 4 広報訓練 [町村 4回] 5 退避等訓練 (1) 住民退避・避難訓練 [参加住民] □岩内町 153人 (実人員 99人) (内54人広域避難) (2) 退避所開設準備 □泊 村 2か所 □共和町 4か所 □神恵内村 4か所 6 緊急時医療措置訓練 [救護所1か所、5人措置] [患者搬送延べ3人、 除染2人]
防護対策 地 区	▽想定風向 南南東(SSE) 発電所中心に全方位1km及び 北、北北西、北西の1~5km (泊村、神恵内村 中心)	▽想定風向 北北西(NNW) 発電所中心に全方位1km及び 南、南南東、南東の1~6km (岩内町中心)	

年度 項目	5	6	
訓練目的	原子力防災に関する防災体制の確立と防災業務関係者の防災技術の向上を図り、併せて防災意識の高揚を図る。		
訓練態様	トータルトレーニング (全体訓練)	テクニカルトレーニング (専門訓練)	
訓練実施日	平成5年11月12日(金)	平成6年7月26日(火)	平成6年11月16日(水)
訓練時間	9:05~15:10	7:00~11:30	9:10~13:30
参加機関	39 機関	11 機関	37 機関
参加人員	▽1,630人(実人員 1,092人) [防災業務関係者 1,332人] (実人員 838人) [住民参加者 298人] (実人員 254人)	▽1,002人(実人員 582人) [防災業務関係者 1,002人] (実人員 582人)	▽870人(実人員 749人) [防災業務関係者 612人] (実人員 549人) [住民参加者 258人] (実人員 200人)
事故想定	一次冷却系事故	一次冷却系事故	一次冷却系事故
訓練項目 (訓練内容)	1 緊急時通信連絡訓練 2 災害対策本部等設置訓練 3 緊急時環境放射線モニタリング訓練 [測定 62地点] 4 広報訓練 [道 5回、町村 4回] 5 退避等訓練 (1)住民退避・避難訓練 [参加住民] □共和町 298人 (実人員 254人) (内44人広域避難) (2)退避所開設準備 □泊村 4か所 □岩内町 4か所 □神恵内村 4か所 6 緊急時医療措置訓練 [救護所1か所、5人措置]	1 緊急時通信連絡訓練 2 防災要員非常招集訓練 3 防災要員現地本部参集訓練 4 災害対策(現地)本部員会議等運営訓練 5 観光客数等把握訓練 6 災害弱者数等把握訓練 7 避難経路確認訓練 8 緊急輸送車両要請訓練 9 広報体制準備訓練 10 防護資機材取扱訓練 (13:30~15:10)	1 緊急時通信連絡訓練 2 緊急時環境放射線モニタリング訓練 [測定 63地点] 3 広報訓練 [町村 3回] 4 退避等訓練 (1)住民退避・避難訓練 [参加住民] □泊村 184人 (実人員 163人) □神恵内村 74人 (実人員 37人) (内58人広域避難) (2)退避所開設準備 □共和町 10か所 □岩内町 3か所 5 緊急時医療措置訓練 [救護所1か所、5人措置] [患者搬送2人、除染2人]
防護対策 地 区	▽想定風向 西(W) 発電所中心に全方位1km及び 東北東、東、東南東の1~5km (共和町 中心)		▽想定風向 南南東(SSE) 発電所中心に全方位1km及び 北、北北西、北西の1~6km (泊村、神恵内村 中心)

年度 項目	7	8	9
訓練目的	原子力防災に関する防災体制の確立と防災業務関係者の防災技術の向上を図り、併せて防災意識の高揚を図る。		
訓練態様	トータルトレーニング (全体訓練)	テクニカルトレーニング (専門訓練)	トータルトレーニング (全体訓練)
訓練実施日	平成7年10月31日(火)	平成8年11月7日(木)	平成9年10月27日(月)
訓練時間	9:10~15:45	7:00~14:30	9:10~15:10
参加機関	39 機関	38 機関	41 機関
参加人員	▽1,059人(実人員 815人) [防災業務関係者 954人] (実人員 760人) [住民参加者 105人] (実人員 55人)	▽1,604人(実人員 1,070人) [防災業務関係者 1,323人] (実人員 789人) [住民参加者 281人] (実人員 281人)	▽1,324人(実人員 1,033人) [防災業務関係者 998人] (実人員 770人) [住民参加者 326人] (実人員 263人)
事故想定	一次冷却系事故	一次冷却系事故	一次冷却系事故
訓練項目 (訓練内容)	1 災害対策本部等設置訓練 2 緊急時通信連絡訓練 3 緊急時環境放射線モニタリング訓練 [測定 60地点] 4 広報訓練 [道 5回、町村 4回] 5 退避等訓練 (1) 住民退避・避難訓練 [参加住民] □岩内町 105人 (実人員 55人) (内50人広域避難) (2) 退避所開設準備 □泊村 4か所 □共和町 8か所 □神恵内村 4か所 6 緊急時医療措置訓練 [救護所1か所、5人措置]	1 災害対策本部等設置訓練 (1) 防災要員非常招集訓練 (2) 警戒本部・災害対策本部設置訓練 2 緊急時通信連絡訓練 3 緊急時環境放射線モニタリング訓練 [測定 70地点] 4 広報訓練 (1) 防災行政無線等による広報訓練 (2) 緊急広報要請準備訓練 5 退避等訓練 (1) 住民退避・避難訓練 □共和町 281人 (実人員 281人) (2) 退避所等開設準備訓練 □泊村 3か所 □共和町 4か所 □岩内町 1か所 □神恵内村 4か所 (3) 緊急輸送車両要請訓練 6 緊急時医療措置訓練 [救護所1か所、12人措置] 7 放射線防護資機材取扱訓練 [5会場で実施、 参加人員198人]	1 災害対策本部等設置訓練 2 緊急時通信連絡訓練 3 緊急時環境放射線モニタリング訓練 [測定 70地点] 4 広報訓練 (1) 防災行政無線等による広報訓練 (2) 緊急広報要請準備訓練 5 退避等訓練 (1) 住民退避・避難訓練 □泊村 131人* (実人員 107人) □共和町 122人 (実人員 122人) □神恵内村 68人* (実人員 34人) (※内58人は積丹町へ広域避難) (2) 退避所等開設準備訓練 □共和町 4か所 □岩内町 1か所 (3) 災害弱者退避等確認訓練 □泊村 22人 □共和町 6施設 □神恵内村 20人 (4) 緊急輸送車両要請訓練 (5) 立入(交通)規制要請訓練 6 緊急時医療措置訓練 [救護所1か所、5人措置]
防護対策区	▽想定風向 北(N) 発電所中心に全方位1km及び南南西、南、南南東の1~6km (岩内町 中心)	▽想定風向 西(W) 発電所中心に全方位1km及び東北東、東、東南東の1~5km (共和町 中心)	▽想定風向 南南東(SSE) 発電所中心に全方位1km及び北西、北北西、北の1~6km (泊村、神恵内村 中心)

年度 項目	10	11	12
訓練目的	原子力防災に関する防災体制の確立と防災業務関係者の防災技術の向上を図り、併せて防災意識の高揚を図る。		
訓練態様	テクニカルトレーニング (専門訓練)	トータルトレーニング (全体訓練)	トータルトレーニング (全体訓練)
訓練実施日	平成10年11月5日(木)	平成12年2月8日(火)	平成13年2月8日(木)
訓練時間	7:30~15:00	8:50~15:00	8:50~14:00
参加機関	33 機関	48 機関	43 機関
参加人員	▽1,500人(実人員 991人) [防災業務関係者 1,289人] (実人員 891人) [住民参加者 211人] (実人員 100人)	▽1,686人(実人員 1,310人) [防災業務関係者 1,216人] (実人員 1,054人) [住民参加者 470人] (実人員 256人)	▽1,579人(実人員 1,197人) [防災業務関係者 1,229人] (実人員 1,022人) [住民参加者 350人] (実人員 175人)
事故想定	一次冷却系事故	一次冷却系事故	二次冷却系事故
訓練項目 (訓練内容)	1 災害対策本部等運営訓練 (1) 防災要員非常招集訓練 (2) 警戒本部・災害対策本部設置・運営訓練 (3) 現地本部設営訓練 2 緊急時通信連絡訓練 3 緊急時環境放射線モニタリング訓練 [測定 53地点] 4 広報訓練 (1) 防災行政無線等による広報訓練 (2) 報道発表資料作成訓練 5 退避等訓練 (1) 住民退避・避難訓練 [参加住民] □ 共和町 59人 (実 59人) □ 岩内町 74人* (実 37人) (※内37人は広域避難) (2) 退避所等開設準備訓練 □ 泊村 2か所 □ 共和町 7か所 □ 神恵内村 1か所 (3) 立入(交通)制限及び避難誘導訓練 ほか 6 緊急時医療措置訓練 [救護所1か所、39人措置] 7 住民生活保全訓練 [退避住民に食料等を供給] 8 防護資機材取扱訓練 [5会場で実施、参加人員195人] 9 その他 住民による訓練見学(4人)	1 災害対策本部等設置訓練 (1) 警戒本部・災害対策本部設置・運営訓練 (2) 現地本部設営訓練 2 緊急時通信連絡訓練 3 緊急時環境放射線モニタリング訓練 [測定 54地点] 4 広報訓練 (1) 防災行政無線等による広報訓練 (2) 報道発表資料作成訓練 5 退避等訓練 (1) 住民退避・避難訓練 [参加住民] □ 泊村 34人 (実 34人) □ 共和町 222人 (実 222人) (2) 退避所等開設準備訓練 □ 泊村 1か所 □ 岩内町 2か所 □ 神恵内村 1か所 (3) 退避等もれ住民確認 □ 泊村・共和町 (4) 災害弱者搬送 □ 泊村・共和町 (5) 立入(交通)制限及び避難誘導訓練 ほか 6 緊急時医療措置訓練 [救護所2か所、124人措置] 7 住民生活保全訓練 [退避住民に物資等を供給] 8 その他 (1) 防護服着用者の拡大 (2) 防護服着用者の汚染確認	1 災害対策本部等設置訓練 2 緊急事態応急対策拠点施設運営訓練 (1) 各機関による要員の派遣 (2) 合同対策協議会の運営 3 緊急時通信連絡訓練 4 緊急時環境放射線モニタリング訓練 [測定 78地点] 5 広報訓練 (1) 防災行政無線等による広報訓練 (2) 報道発表資料作成訓練 6 退避等訓練 (1) 住民退避・避難訓練 [参加住民] □ 泊村 91人 (実 91人) □ 神恵内村 84人 (実 84人) (2) 退避所等開設(準備)訓練 □ 泊村 1か所 □ 共和町 10か所 □ 岩内町 1か所 □ 神恵内村 1か所 (3) 住民退避等の確認訓練 □ 泊村・神恵内村 (4) 災害弱者搬送訓練 □ 泊村・共和町・神恵内村 (5) 立入(交通)制限及び避難誘導訓練など 7 緊急時医療活動訓練 [救護所2か所、122人措置] 8 住民生活保全訓練 [退避住民に物資等を供給] 9 自衛隊災害派遣運用訓練 [避難住民の搬送、化学防護車などの配置] 10 その他 (1) 防護服着用者の汚染確認 (2) 住民による訓練見学(9人)
防護対策地	▽想定風向 北(N) 発電所中心に全方位1km及び南南西、南、南南東の1~6km(岩内町 中心)	▽想定風向 西(W) 発電所中心に全方位1km及び東北東、東、東南東の1~5km(共和町 中心)	▽想定風向 南南東(SSE) 発電所中心に全方位1km及び北、北北西、北西の1~5km(泊村、神恵内村 中心)

年度 項目	13	14	15
訓練目的	原子力防災に関する防災体制の確立と防災業務関係者の防災技術の向上を図り、併せて防災意識の高揚を図る。		
訓練態様	トータルトレーニング (全体訓練)	トータルトレーニング (全体訓練)	トータルトレーニング (全体訓練)
訓練実施日	平成13年10月27日(土)	平成14年10月25日(金)	平成15年10月24日(金)
訓練時間	8:30~15:30	9:00~14:30	9:00~15:00
参加機関	39 機関*	51 機関	56 機関
参加人員	▽1,983人*(実人員 1,404人) [防災業務関係者 1,686人] (実人員 1,305人) [住民参加者 297人] (実人員 99人)	▽1,520人(実人員 1,229人) [防災業務関係者 1,272人] (実人員 1,033人) [住民参加者 248人] (実人員 196人)	▽2,161人(実人員 1,424人) [防災業務関係者 1,320人] (実人員 993人) [住民参加者 841人] (実人員 431人)
事故想定	一次冷却系事故	一次冷却系事故	交流電源喪失事故
訓練項目 (訓練内容)	1 災害対策本部等設置訓練 2 緊急事態応急対策拠点施設運営訓練 (1)各機関による要員の派遣 (2)オフサイトセンターの運営 3 緊急時通信連絡訓練 4 緊急時環境放射線モニタリング訓練 [測定91地点・5ルート] 5 広報訓練 (1)住民広報 (2)報道発表(記者会見) 6 退避等訓練 (1)住民退避・避難 [参加住民] □泊村 22人(実22人) □共和町 77人(実77人) (2)退避所等開設(準備) □泊村 2箇所 □共和町 1(10)箇所 □岩内町 1箇所 □神恵内村 1箇所 (3)住民退避等の確認訓練 □泊村・共和町 (4)災害弱者搬送訓練 □泊村・共和町 (5)立入(交通)規制 (6)化学防護車、除せん施設等の展示及び避難誘導ほか 7 緊急時医療活動訓練 (1)救護所設置、措置 [2箇所、99人措置] (2)ヨウ素剤配布準備 (3)負傷者搬送 8 住民生活保全訓練 (1)生活必需物資の要請・輸送 (2)特設電話の設置 9 その他 (1)防護着用及び汚染確認 (2)住民による訓練見学(7人) *13年度は国との共同訓練のため道内機関のみ計上	1 災害対策本部等設置訓練 2 緊急事態応急対策拠点施設運営訓練 (1)オフサイトセンターの立ち上げ (2)現地事故対策連絡会議の開催 (3)原子力災害合同対策協議会の運営 3 緊急時通信連絡訓練 4 緊急時環境放射線モニタリング訓練 [測定96地点・5ルート] 5 広報訓練 (1)住民広報 (2)報道発表(記者会見) 6 退避等訓練 (1)住民退避・避難 [参加住民] □共和町 67人(実67人) □岩内町 129人(実129人) (2)退避所等開設(準備) □泊村 (2)箇所 □共和町 (14)箇所 □岩内町 1箇所 □神恵内村 (1)箇所 (3)住民退避等の確認訓練 □岩内町 (4)災害弱者搬送訓練 □泊村・共和町・岩内町 (5)立入(交通)規制 7 緊急被ばく医療活動訓練 (1)救護所設置、措置 [1箇所、29人措置] (2)ヨウ素剤配布準備 (3)負傷者搬送 (4)化学防護車、除せん施設等の展示 8 住民生活保全訓練 (1)生活必需物資の要請・輸送 (2)特設電話の設置 9 その他 (1)防護着用及び汚染確認 (2)住民による訓練見学(6人)	1 災害対策本部等設置訓練 2 緊急事態応急対策拠点施設運営訓練 (1)オフサイトセンターの立ち上げ (2)現地事故対策連絡会議の開催 (3)原子力災害合同対策協議会の運営 3 緊急時通信連絡訓練 4 緊急時環境放射線モニタリング訓練 [測定96地点・1ルート] 5 広報訓練 (1)住民広報 (2)報道発表(記者会見) 6 退避等訓練 (1)住民退避・避難 [参加住民] □泊村 158人(実158人) □共和町 145人(実145人) □神恵内村 128人(実128人) (2)退避所等開設(準備) □泊村 (3)箇所 □共和町 (12)箇所 □岩内町 18箇所 □神恵内村 (1)箇所 (3)住民退避等の確認訓練 □神恵内村 (4)災害弱者搬送訓練 □泊村 (5)立入(交通)規制 7 緊急被ばく医療活動訓練 (1)救護所設置、措置 [2箇所、129人措置] (2)ヨウ素剤配布準備 (3)負傷者搬送 (4)陸上自衛隊の除染施設の設置・運営 8 住民生活保全訓練 (1)生活必需物資の要請・輸送 (2)臨時公衆電話の設置 9 その他 (1)防護着用及び汚染確認 (2)住民による訓練見学(1人)
防護対策地	▽想定風向 西(W) 発電所中心に全方位1km及び東北東、東、東南東の1~6km (泊村堀株地区、共和町)	▽想定風向 (北北西) 発電所中心に全方位1km及び南、南南東、南東の1~6km (岩内町 中心)	▽想定風向 (南南東) 発電所中心に全方位1km及び北西、北北西、北の1~6km (泊村 渋井地区ほか)

年度 項目	16	17	18
訓練目的	原子力防災に関する防災体制の確立と防災業務関係者の防災技術の向上を図り、併せて防災意識の高揚を図る。		
訓練態様	トータルトレーニング (全体訓練)	トータルトレーニング (全体訓練)	総合訓練
訓練実施日	平成16年10月22日(金)	平成17年10月21日(金)	平成18年10月30日(月)
訓練時間	9:00～15:00	9:00～15:40	9:00～15:30
参加機関	52 機関	50 機関	63 機関
参加人員	▽1,810人(実人員 1,310人) [防災業務関係者 1,079人] (実人員 895人) [住民参加者 731人] (実人員 415人)	▽1,791人(実人員 1,190人) [防災業務関係者 1,073人] (実人員 830人) [住民参加者 673人] (実人員 360人)	▽1,745人(実人員 1,366人) [防災業務関係者 1,183人] (実人員 1,023人) [住民参加者 562人] (実人員 343人)
事故想定	二次冷却系事故	一次冷却系事故	外部電源喪失事故
訓練項目 (訓練内容)	1 災害対策本部等設置訓練 2 緊急事態応急対策拠点施設運営訓練 (1) オフサイトセンターの立ち上げ (2) 現地事故対策連絡会議の開催 (3) 原子力災害合同対策協議会の運営 3 緊急時通信連絡訓練 4 緊急時環境放射線モニタリング訓練 [測定95地点・3ルート] 5 広報訓練 (1) 住民広報 (2) 報道発表(記者会見) (3) 住民問い合わせ対応 6 退避等訓練 (1) 住民退避・避難 [参加住民] □共和町 144人(実144人) □岩内町 587人(実271人) (2) 退避所等開設等訓練 □泊村 2箇所 □共和町 13箇所 □岩内町 9箇所 (3) 住民退避等の確認訓練 □泊村 (4) 災害弱者搬送訓練 □泊村・共和町・岩内町 (5) 立入(交通)規制 7 緊急被ばく医療活動訓練 (1) 救護所設置、措置 [1箇所、136人措置] (2) ヨウ素剤配布準備 (3) 負傷者搬送 (4) 陸上自衛隊の除染施設の設置・運営 8 住民生活保全訓練 (1) 生活必需物資の要請・輸送 (2) 臨時公衆電話の設置 9 その他 (1) 防護服着用及び汚染確認 (2) 住民による訓練見学(4人)	1 災害対策本部等設置訓練 2 緊急事態応急対策拠点施設運営訓練 (1) オフサイトセンターの立ち上げ (2) 現地事故対策連絡会議の開催 (3) 原子力災害合同対策協議会の運営 3 緊急時通信連絡訓練 4 緊急時環境放射線モニタリング訓練 [測定90地点・3ルート] 5 広報訓練 (1) 住民広報 (2) 報道発表(記者会見) (3) 住民問い合わせ対応 6 退避等訓練 (1) 住民退避・避難 [参加住民] □泊村 180人(実60人) □共和町 475人(実272人) □神恵内村28人(実28人) (2) 退避所等開設等訓練 □泊村 3箇所 □共和町 14箇所 □岩内町 9箇所 □神恵内村 1箇所 (3) 住民退避等の確認訓練 □泊村 (4) 災害弱者搬送訓練 □泊村・共和町・神恵内村 (5) 立入(交通)規制 7 緊急被ばく医療活動訓練 (1) 救護所設置、措置 [2箇所、98人措置] (2) ヨウ素剤配布準備 (3) 負傷者搬送 (4) 陸上自衛隊の除染施設の設置・運営 8 住民生活保全訓練 (1) 生活必需物資の要請・輸送 (2) 臨時公衆電話の設置 9 その他 (1) 防護服着用及び汚染確認 (2) 住民による訓練見学(4人)	1 災害対策本部等設置訓練 2 緊急事態応急対策拠点施設運営訓練 (1) オフサイトセンターの立ち上げ (2) 現地事故対策連絡会議の開催 (3) 原子力災害合同対策協議会の運営 3 緊急時通信連絡訓練 4 緊急時環境放射線モニタリング訓練 [測定91地点・1ルート] 5 広報訓練 (1) 住民広報 (2) 報道発表(記者会見) 6 退避等訓練 (1) 住民退避・避難 [参加住民] □泊村 228人(実104人) □共和町 133人(実133人) □岩内町 5人(実5人) □神恵内村196人(実101人) (2) 退避所等開設等訓練 □泊村 3箇所 □共和町 14箇所 □岩内町 9箇所 □神恵内村 1箇所 (3) 住民退避等の確認訓練 □泊村 (4) 災害弱者搬送訓練 □泊村・神恵内村 (5) 立入(交通)規制 7 緊急被ばく医療活動訓練 (1) 救護所設置、措置 [2箇所、73人措置] (2) ヨウ素剤配布準備 (3) 負傷者搬送 (4) 陸上自衛隊の除染施設の設置・運営 8 住民生活保全訓練 (1) 生活必需物資の要請・輸送 (2) 避難ブースの設置等 9 その他 (1) 原子力防災パネル等展示 (2) 原子力防災研修会開催等
防護対策地	▽想定風向(北北西) 発電所中心に全方位1km及び南、南南東、南東の1～6km (岩内町中心)	▽想定風向(西(W)) 発電所中心に全方位1km及び東北東、東、東南東の1～6km (泊村、共和町)	▽想定風向(南南東) 発電所中心に全方位1km及び北西、北北西、北の1～6km (泊村、渋井地区ほか)

年度 項目	19	20	21
訓練目的	原子力防災に関する防災体制の確立と防災業務関係者の防災技術の向上を図り、併せて防災意識の高揚を図る。		
訓練態様	総合訓練	総合訓練	総合訓練
訓練実施日	平成19年10月30日(火)	平成21年2月10日(火)	平成21年10月29日(木)
訓練時間	8:45~15:30	8:45~15:30	8:45~16:00
参加機関	86機関	93機関	90機関
参加人員	▽1,674人(実人員1,475人) [防災業務関係者1,230人 (実人員1,074人) [住民参加者444人 (実人員401人)]	▽1,971人(実人員1,671人) [防災業務関係者1,274人 (実人員1,064人) [住民参加者697人 (実人員607人)]	▽1,823人(実人員1,524人) [防災業務関係者1,362人 (実人員1,104人) [住民参加者461人 (実人員420人)]
事故想定	一次冷却系事故	一次冷却系事故	外部電源喪失事故
訓練項目 (訓練内容)	1 災害対策本部等設置訓練 2 緊急事態応急対策拠点施設運営訓練 (1) オフサイトセンターの立ち上げ (2) 現地事故対策連絡会議の開催 (3) 原子力災害合同対策協議会の運営 (4) 防護対策の事前検討 3 緊急時通信連絡訓練 4 緊急時環境放射線モニタリング訓練 [測定91地点・1ル-ト] 5 広報訓練 (1) 住民広報 (2) 報道発表(記者会見) 6 退避等訓練 (1) 住民退避・避難 [参加住民] <input type="checkbox"/> 泊村 89人(実85人) <input type="checkbox"/> 共和町 209人(実203人) <input type="checkbox"/> 岩内町 124人(実93人) <input type="checkbox"/> 神恵内村 20人(実20人) (2) 退避所等開設等訓練 <input type="checkbox"/> 泊村 3箇所 <input type="checkbox"/> 共和町 8箇所 <input type="checkbox"/> 岩内町 10箇所 <input type="checkbox"/> 神恵内村 1箇所 (3) 災害時要援護者搬送訓練 共和町・岩内町・神恵内村 (4) 立入(交通)規制 7 緊急被ばく医療活動訓練 (1) 救護所設置、措置 [1箇所、93人措置] (2) ヨウ素剤配布準備 (3) 負傷者搬送 (4) 陸上自衛隊の除染施設の設置・運営 8 住民生活保全訓練 (1) 生活必需物資の要請・輸送 (2) 避難所に災害情報配付等 9 その他 (1) 原子力防災パネル等展示 (2) 原子力防災研修会開催等	1 災害対策本部等設置訓練 2 緊急事態応急対策拠点施設運営訓練 (1) オフサイトセンターの立ち上げ (2) 現地事故対策連絡会議の開催 (3) 原子力災害合同対策協議会の運営 (4) 防護対策の事前準備活動 3 緊急時通信連絡訓練 4 緊急時環境放射線モニタリング訓練 [測定91地点・1ル-ト] 5 広報訓練 (1) 住民広報 (2) 報道発表(記者会見) 6 退避等訓練 (1) 住民退避・避難 [参加住民] <input type="checkbox"/> 泊村 98人(実98人) <input type="checkbox"/> 共和町 203人(実197人) <input type="checkbox"/> 岩内町 194人(実191人) <input type="checkbox"/> 神恵内村 36人(実35人) (2) 退避所等開設等訓練 <input type="checkbox"/> 泊村 2箇所 <input type="checkbox"/> 共和町 11箇所 <input type="checkbox"/> 岩内町 10箇所 <input type="checkbox"/> 神恵内村 1箇所 (3) 災害時要援護者搬送訓練 共和町・神恵内村 (4) 立入(交通)規制 7 緊急被ばく医療活動訓練 (1) 救護所設置、措置 [2箇所、80人措置] (2) ヨウ素剤配布準備 (3) 負傷者搬送 (4) 陸上自衛隊の除染施設の設置・運営 8 住民生活保全訓練 (1) 生活必需物資の要請・輸送 (2) 避難所に災害情報配付等 9 その他 (1) 原子力防災パネル等展示 (2) 原子力防災研修会開催等	1 災害対策本部等設置訓練 2 緊急事態応急対策拠点施設運営訓練 (1) 10条通報を受け参集要請 (2) 現地事故対策連絡会議の開催 (3) 原子力災害合同対策協議会の運営 (4) 防護対策の事前準備活動 (5) OFC被ばく管理訓練 3 緊急時通信連絡訓練 4 緊急時環境放射線モニタリング訓練 [測定87地点・1ル-ト] 5 広報訓練 (1) 住民広報 (2) 報道発表(記者会見) 6 退避等訓練 (1) 住民退避・避難 [参加住民] <input type="checkbox"/> 泊村 100人(実100人) <input type="checkbox"/> 共和町 10人(実10人) <input type="checkbox"/> 岩内町 237人(実237人) <input type="checkbox"/> 神恵内村 36人(実36人) (2) 退避所等開設等訓練 <input type="checkbox"/> 泊村 3箇所 <input type="checkbox"/> 共和町 11箇所 <input type="checkbox"/> 岩内町 6箇所 <input type="checkbox"/> 神恵内村 1箇所 (3) 災害時要援護者搬送訓練 泊村、共和町・神恵内村 (4) 立入(交通)規制 7 緊急被ばく医療活動訓練 (1) 救護所設置、措置 [1箇所、41人措置] (2) 安定ヨウ素剤配布準備 (3) 負傷者搬送 (4) 陸上自衛隊の除染施設の設置・運営 8 住民生活保全訓練 (1) 生活必需物資の要請・輸送 (2) 避難所に災害情報配付等 9 その他 (1) 原子力防災パネル等展示 (2) 原子力防災研修会開催等
防護対策地	▽想定風向(北北西) 発電所中心に全方位1km及び南、南南東、南東の1~6km (泊村、共和町、岩内町)	▽想定風向(西(W)) 発電所中心に全方位1km及び東北東、東、東南東の1~6km (泊村、共和町)	▽想定風向(南南東) 発電所中心に全方位1km及び北西、北北西、北の1~6km (泊村、渋井地区ほか)

年度 項目	22	23	24
訓練目的	原子力防災に関する防災体制の確立と防災業務関係者の防災技術の向上を図り、併せて防災意識の高揚を図る。		
訓練態様	総合訓練	要素訓練	要素訓練
訓練実施日	平成22年11月17日(水)	平成24年2月13日(月)	平成24年10月24日(水)
訓練時間	6:30~16:00	9:00~15:00	8:30~14:00
参加機関	97 機関	102 機関	267機関
参加人員	2,312人 [防災業務関係者 990人] [住民参加者 1,322人]	977人 [防災業務関係者 977人]	9,116人 [防災業務関係者 2,236人] [住民参加者 6,880人]
事故想定	一次冷却系事故	一次冷却系事故	冷却機能喪失事故
訓練項目 (訓練内容)	1 災害対策本部等設置訓練 (1)原子力災害対策警戒本部・災害対策本部等設置運営訓練 2 緊急事態応急対策拠点施設運営訓練 (1)オフサイトセンターの立ち上げ (2)現地事故対策連絡会議の開催 (3)原子力災害合同対策協議会の運営 (4)OFC被ばく管理訓練 3 緊急時通信連絡訓練 4 緊急時環境放射線モニタリング訓練 [測定92地点・3ルート] 5 広報訓練 (1)住民広報 (2)報道発表(記者会見) 6 退避等訓練 (1)住民退避・避難 [参加住民] <input type="checkbox"/> 泊村 86人 (うち、幌株地区12名は、共和町へ広域避難) <input type="checkbox"/> 共和町 245人 <input type="checkbox"/> 岩内町 964人 <input type="checkbox"/> 神恵内村 27人 (2)退避所等開設等訓練 (3)災害時要援護者搬送訓練 (4)立入(交通)規制 7 緊急被ばく医療活動訓練 (1)救護所設置、措置 [1箇所、70人措置] (2)安定ヨウ素剤配布準備 (3)負傷者搬送 (4)陸上自衛隊の除染施設の設置・運営 8 住民生活保全訓練 (1)生活必需物資の搬送 (2)避難所に臨時交番設置等 9 その他 (1)原子力防災パネル等展示 (2)原子力防災研修会開催等	1 災害対策本部等設置訓練 (1)原子力災害対策警戒本部・災害対策本部等設置運営訓練 (2)道現地本部の移転 2 緊急事態応急対策拠点施設運営訓練 (1)オフサイトセンターの立ち上げ (2)現地事故対策連絡会議の開催 (3)原子力災害合同対策協議会の運営 (4)代替施設への移転 3 緊急時通信連絡訓練 (1)原子力防災ネットワークなどを活用した通信連絡訓練 (2)衛星携帯電話による通信連絡、警察無線・消防無線を活用した情報伝達訓練 4 緊急時環境放射線モニタリング訓練 [測定102地点・6ルート] 5 退避等訓練 (1)道路除雪による避難道路の確保 6 その他 原子力防災パネル・モニタリング機材等展示	1 災害対策本部等設置訓練 (1)原子力災害対策本部等設置運営訓練 2 緊急時通信連絡訓練 3 緊急時環境放射線モニタリング訓練 [測定127地点・2ルート] 4 広報訓練 (1)住民広報 5 退避等訓練 (1)住民退避・避難 [参加住民] <input type="checkbox"/> 泊村 253人 <input type="checkbox"/> 共和町 932人 <input type="checkbox"/> 岩内町 1,773人 <input type="checkbox"/> 神恵内村 117人 <input type="checkbox"/> 寿都町 181人 <input type="checkbox"/> 蘭越町 123人 <input type="checkbox"/> ニセコ町 33人 <input type="checkbox"/> 倶知安町 725人 <input type="checkbox"/> 積丹町 261人 <input type="checkbox"/> 古平町 382人 <input type="checkbox"/> 仁木町 470人 <input type="checkbox"/> 余市町 1,477人 <input type="checkbox"/> 赤井川村 153人 (2)退避所等開設等訓練 (3)災害時要援護者搬送訓練 (4)立入(交通)規制 6 緊急被ばく医療活動訓練 (1)救護所設置、措置 [3箇所、292人措置] (2)安定ヨウ素剤配布準備 (3)負傷者搬送 (4)陸上自衛隊の除染施設の設置・運営 7 住民生活保全訓練 (1)生活必需物資の搬送等 8 その他 (1)原子力防災資機材等展示 (2)原子力防災研修会開催等
防護対策区	▽想定風向(北北西→西北西)発電所中心に全方位1km及び南、南南東、南東+東南東、東の1~6km (泊村、共和町、岩内町)	▽発電所から半径5km(PAZ)の全方位(想定) (泊村、共和町、岩内町)	▽発電所から半径5km(PAZ)から半径30kmの全方位 [防護対策地区順次拡大] (UPZ圏内13町村)

避難訓練参加者アンケート調査

避難訓練参加者アンケート調査の結果

1 調査目的

避難に際しての住民意識に関することを調査し、避難等に関する施策の基礎資料を得る

2 調査対象

避難訓練参加者（ただし、保育所・小学生・中学生を除く）

泊村	76名	(保育所31名,小学生99名,中学生49名 除く)
共和町	70名	
岩内町	76名	
神恵内村	45名	(小学生36名,中学生19名 除く)
寿都町	84名	
蘭越町	79名	
二セコ町	32名	
倶知安町	168名	
積丹町	48名	
古平町	104名	
仁木町	58名	
余市町	90名	(小学生394名 除く)
赤井川村	29名	(小学生19名 除く)
計	959名	

3 調査実施方法

アンケート用紙を配布

4 年代別回答状況

	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	合計	不明
男性	13 (1.4%)	23 (2.4%)	22 (2.3%)	43 (4.5%)	146 (15.2%)	190 (19.8%)	3 (0.3%)	440 (45.9%)	116
女性	12 (1.3%)	36 (3.8%)	32 (3.3%)	45 (4.7%)	101 (10.5%)	176 (18.4%)	1 (0.1%)	403 (42.0%)	(12.1%)
合計	25 (2.6%)	59 (6.2%)	54 (5.6%)	88 (9.2%)	247 (25.8%)	366 (38.2%)	4 (0.4%)	843 (87.9%)	959

<設問内容>

問1. あなたは、避難する際の行動として、次に掲げることがらを知っていますか？

知っているものをすべて選んでください。

ア ガスの元栓を閉めるなど火の元に注意する	91.7%
イ マスクや外衣を着用し、持ち物は最小限にする	77.8%
ウ 自宅を出るときは戸締まりをする	87.2%
エ 近所の人に声を掛けたり、お年寄りなどを助ける	77.2%
オ マイカーの使用をひかえ、歩いて集合場所に行く	69.0%

	泊	共和	岩内	神恵内	寿都	蘭越	二セコ	倶知安	積丹	古平	仁木	余市	赤井川
ア	94.7%	91.4%	96.1%	93.3%	92.9%	89.9%	90.6%	93.5%	91.7%	89.4%	89.7%	90.0%	79.3%
イ	88.2%	74.3%	88.2%	88.9%	75.0%	74.7%	81.3%	72.0%	83.3%	73.1%	70.7%	84.4%	62.1%
ウ	94.7%	85.7%	89.5%	86.7%	88.1%	83.5%	81.3%	91.1%	83.3%	84.6%	72.4%	88.9%	96.6%
エ	81.6%	64.3%	82.9%	80.0%	72.6%	82.3%	78.1%	75.0%	91.7%	74.0%	72.4%	81.1%	72.4%
オ	67.1%	64.3%	81.6%	73.3%	61.9%	69.6%	59.4%	76.2%	68.8%	66.3%	70.7%	65.6%	51.7%
無回答	0.0%	2.9%	1.3%	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	0.6%	2.1%	1.0%	3.4%	2.2%	0.0%

問2. 避難指示が出たとき、あなたは何を持っていきますか？

当てはまるものをすべて選んでください。

ア 貴重品（現金、預貯金通帳、キャッシュカード、健康保険証、印鑑など）	92.3%
イ 非常食品（食料、飲料水）	69.0%
ウ 応急医薬品（常備薬）	58.7%
エ 衣類等（着替え、タオルなど）	60.3%
オ 乳児用品（紙オムツ、粉ミルク、ほ乳びんなど）	6.2%
カ 携帯ラジオ、懐中電灯	67.5%
キ 携帯電話、充電器、パソコン類	61.6%
ク メガネ、入れ歯、補聴器	55.3%
ケ リュック、マスク、ハンカチ	63.8%
コ 防寒着	65.2%
サ その他	3.8%

	泊	共和	岩内	神恵内	寿都	蘭越	二セコ	倶知安	積丹	古平	仁木	余市	赤井川
ア	94.7%	98.6%	88.2%	95.6%	88.1%	93.7%	100.0%	93.5%	91.7%	89.4%	87.9%	91.1%	93.1%
イ	71.1%	62.9%	67.1%	66.7%	70.2%	73.4%	62.5%	72.6%	70.8%	65.4%	72.4%	63.3%	79.3%
ウ	64.5%	45.7%	73.7%	51.1%	61.9%	59.5%	65.6%	59.5%	50.0%	51.9%	58.6%	60.0%	58.6%
エ	53.9%	50.0%	72.4%	62.2%	60.7%	69.6%	71.9%	60.1%	62.5%	53.8%	60.3%	53.3%	69.0%
オ	5.3%	20.0%	9.2%	4.4%	6.0%	7.6%	3.1%	5.4%	4.2%	3.8%	3.4%	1.1%	6.9%
カ	57.9%	48.6%	71.1%	53.3%	51.2%	67.1%	68.8%	75.0%	66.7%	77.9%	65.5%	80.0%	82.8%
キ	64.5%	72.9%	51.3%	68.9%	33.3%	69.6%	65.6%	62.5%	77.1%	57.7%	62.1%	63.3%	75.9%
ク	52.6%	42.9%	64.5%	46.7%	66.7%	50.6%	68.8%	50.6%	54.2%	58.7%	39.7%	65.6%	62.1%
ケ	65.8%	52.9%	76.3%	64.4%	64.3%	65.8%	62.5%	62.5%	58.3%	64.4%	56.9%	66.7%	65.5%
コ	73.7%	67.1%	75.0%	71.1%	57.1%	69.6%	71.9%	63.7%	56.3%	57.7%	63.8%	63.3%	65.5%
サ	5.3%	2.9%	0.0%	0.0%	11.9%	2.5%	3.1%	3.6%	4.2%	1.0%	0.0%	8.9%	0.0%
無回答	1.3%	0.0%	1.3%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	1.0%	0.0%	1.1%	3.4%

問3. 原子力防災訓練が実施されることを何で知りましたか？

当てはまるものすべてを選んでください。

ア	防災訓練パンフレット	34.0%
イ	町村の広報誌、防災無線、有線放送	65.7%
ウ	新聞、インターネット等	20.0%
エ	役場職員、町内会や近所の人	52.5%
オ	会社や職場の情報	13.7%
カ	その他	1.9%

	泊	共和	岩内	神恵内	寿都	蘭越	二セコ	倶知安	積丹	古平	仁木	余市	赤井川
ア	42.1%	20.0%	36.8%	33.3%	32.1%	30.4%	25.0%	45.8%	41.7%	27.9%	39.7%	25.6%	20.7%
イ	68.4%	45.7%	64.5%	68.9%	84.5%	67.1%	71.9%	60.1%	70.8%	73.1%	70.7%	51.1%	72.4%
ウ	23.7%	15.7%	32.9%	13.3%	13.1%	16.5%	12.5%	24.4%	16.7%	22.1%	13.8%	21.1%	17.2%
エ	51.3%	28.6%	82.9%	22.2%	38.1%	54.4%	65.6%	60.7%	41.7%	60.6%	48.3%	51.1%	55.2%
オ	23.7%	62.9%	2.6%	35.6%	6.0%	7.6%	9.4%	4.8%	10.4%	2.9%	17.2%	7.8%	13.8%
カ	2.6%	2.9%	0.0%	2.2%	3.6%	0.0%	0.0%	0.6%	4.2%	1.9%	0.0%	5.6%	0.0%
無回答	0.0%	1.4%	2.6%	0.0%	7.1%	3.8%	0.0%	2.4%	2.1%	1.0%	1.7%	3.3%	6.9%

問4. 原子力事故発生時、どのような情報が必要だと思いますか？

ア	事故事象の概要	62.6%
イ	屋内待避又は避難の必要性	67.5%
ウ	放射線、放射線物質の放出状況や健康への影響	50.5%
エ	避難区域等の範囲	56.5%
オ	事故の今後の見通し	44.2%
カ	放射線防護対策	39.9%
キ	その他	2.5%

	泊	共和	岩内	神恵内	寿都	蘭越	二セコ	倶知安	積丹	古平	仁木	余市	赤井川
ア	71.1%	65.7%	72.4%	64.4%	35.7%	65.8%	56.3%	65.5%	64.6%	51.9%	55.2%	73.3%	79.3%
イ	82.9%	71.4%	76.3%	77.8%	42.9%	77.2%	62.5%	66.7%	62.5%	59.6%	58.6%	73.3%	69.0%
ウ	63.2%	42.9%	61.8%	37.8%	34.5%	44.3%	46.9%	57.7%	54.2%	35.6%	43.1%	61.1%	79.3%
エ	61.8%	42.9%	69.7%	51.1%	38.1%	65.8%	46.9%	62.5%	58.3%	55.8%	50.0%	60.0%	55.2%
オ	57.9%	44.3%	59.2%	40.0%	31.0%	45.6%	34.4%	42.9%	41.7%	33.7%	39.7%	47.8%	69.0%
カ	42.1%	37.1%	51.3%	35.6%	31.0%	34.2%	25.0%	49.4%	35.4%	32.7%	37.9%	42.2%	51.7%
キ	1.3%	4.3%	0.0%	2.2%	2.4%	0.0%	3.1%	2.4%	0.0%	3.8%	1.7%	4.4%	10.3%
無回答	1.3%	5.7%	9.2%	11.1%	44.0%	7.6%	9.4%	8.3%	10.4%	18.3%	13.8%	6.7%	10.3%

問5. 実際に原子力災害が発生した場合、住民の被ばく管理の観点などから、役場などが用意するバスなどで避難することとありますが、避難指示が出された場合、どのような行動をしますか？

ア	役場の指示に従い、バスなどで避難所へ避難する	70.9%
イ	自家用車等を使用して、避難所へ避難する	15.8%
ウ	自家用車等を使用して、親戚、知人宅など避難所以外の場所へ避難する	10.3%
エ	その他	2.1%

	泊	共和	岩内	神恵内	寿都	蘭越	二セコ	倶知安	積丹	古平	仁木	余市	赤井川
ア	80.3%	72.9%	82.9%	64.4%	59.5%	73.4%	90.6%	68.5%	68.8%	64.4%	67.2%	78.9%	48.3%
イ	11.8%	12.9%	6.6%	8.9%	13.1%	19.0%	12.5%	14.3%	25.0%	22.1%	19.0%	18.9%	27.6%
ウ	9.2%	21.4%	1.3%	13.3%	8.3%	13.9%	9.4%	11.3%	4.2%	8.7%	8.6%	11.1%	13.8%
エ	2.6%	4.3%	2.6%	4.4%	0.0%	2.5%	3.1%	0.0%	4.2%	1.9%	1.7%	1.1%	6.9%
無回答	2.6%	1.4%	6.6%	11.1%	35.7%	7.6%	0.0%	8.3%	10.4%	14.4%	12.1%	4.4%	10.3%

問6. 防災行政無線・有線放送・IP告知放送による訓練広報は聞こえましたか？

(該当する町村の住民の方のみ回答してください。)

ア よく聞こえた	43.6%
イ 聞こえにくい時があった	15.7%
ウ 全く聞こえなかった	6.2%
エ 仕事、用事等で不在だった	2.6%

	泊	共和	岩内	神恵内	寿都	蘭越	二セコ	倶知安	積丹	古平	仁木	余市	赤井川
ア	78.9%	44.3%	73.7%	66.7%	56.0%	57.0%	68.8%	28.0%	81.3%	0.0%	29.3%	0.0%	82.8%
イ	15.8%	28.6%	10.5%	6.7%	7.1%	3.8%	9.4%	37.5%	18.8%	0.0%	39.7%	0.0%	3.4%
ウ	2.6%	18.6%	3.9%	15.6%	2.4%	12.7%	6.3%	8.3%	2.1%	0.0%	6.9%	0.0%	3.4%
エ	3.9%	2.9%	5.3%	2.2%	2.4%	6.3%	6.3%	1.8%	2.1%	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%
無回答	1.3%	5.7%	6.6%	8.9%	32.1%	6.3%	9.4%	25.0%	2.1%	0.0%	20.7%	0.0%	10.3%

「イ」又は「ウ」を選んだ方にお聞きます。

問6-1. よく聞こえなかった理由は何ですか？

ア 建物の中で防災行政無線・有線放送・IP告知放送が聞こえにくい場所や聞こえない場所にいたから	10.5%
イ 建物にある防災行政無線・有線放送・IP告知放送の電源を切っていた、又は、故障していたから	1.0%
ウ 屋外で防災行政無線・有線放送・IP告知放送が聞こえにくい場所や状況にあったから	2.4%
エ 防災行政無線・有線放送・IP告知放送の音量が小さかったから	5.7%
オ その他	2.2%

	泊	共和	岩内	神恵内	寿都	蘭越	二セコ	倶知安	積丹	古平	仁木	余市	赤井川
ア	9.2%	12.9%	5.3%	13.3%	3.6%	6.3%	9.4%	25.6%	8.3%	0.0%	25.9%	0.0%	6.9%
イ	0.0%	4.3%	3.9%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	1.2%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ウ	2.6%	4.3%	1.3%	0.0%	2.4%	1.3%	0.0%	4.8%	4.2%	0.0%	6.9%	0.0%	0.0%
エ	5.3%	22.9%	3.9%	4.4%	0.0%	1.3%	0.0%	11.3%	4.2%	0.0%	13.8%	0.0%	0.0%
オ	2.6%	10.0%	0.0%	0.0%	2.4%	3.8%	3.1%	1.8%	2.1%	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	85.5%	0.0%	2.4%	6.3%	6.3%	58.3%	4.2%	0.0%	55.2%	0.0%	10.3%

問7. 広報車による広報訓練は聞こえましたか？

(該当する町村の住民の方のみ回答してください。)

ア よく聞こえた	34.2%
イ 聞こえにくい時があった	23.4%
ウ 全く聞こえなかった	16.4%
エ 仕事、用事等で不在だった	3.1%

	泊	共和	岩内	神恵内	寿都	蘭越	二セコ	倶知安	積丹	古平	仁木	余市	赤井川
ア	56.6%	37.1%	48.7%	40.0%	32.1%	30.4%	50.0%	38.1%	31.3%	31.7%	24.1%	12.2%	0.0%
イ	15.8%	25.7%	18.4%	13.3%	9.5%	12.7%	31.3%	39.9%	12.5%	33.7%	39.7%	16.7%	0.0%
ウ	14.5%	24.3%	18.4%	28.9%	8.3%	30.4%	9.4%	9.5%	16.7%	15.4%	22.4%	16.7%	0.0%
エ	6.6%	5.7%	2.6%	6.7%	2.4%	6.3%	3.1%	1.2%	0.0%	2.9%	3.4%	1.1%	0.0%
無回答	6.6%	7.1%	11.8%	13.3%	48.8%	7.6%	6.3%	11.3%	39.6%	17.3%	10.3%	54.4%	0.0%

「イ」を選んだ方にお聞きます。

問7-1. よく聞こえなかった理由は何ですか？

当てはまるものすべて記入してください。

ア 建物の中で広報車の聞こえにくい場所や聞こえない場所にいたから	12.3%
イ 広報車が建物から離れたところを通過していったから	4.7%
ウ 広報車の速度が速すぎたから	5.5%
エ 広報車の音量が小さかったから	8.8%
オ 外部の騒音がうるさかったから	0.6%
カ その他	1.4%

	泊	共和	岩内	神恵内	寿都	蘭越	二セコ	倶知安	積丹	古平	仁木	余市	赤井川
ア	9.2%	14.3%	9.2%	11.1%	6.0%	10.1%	9.4%	20.2%	8.3%	16.3%	22.4%	5.6%	0.0%
イ	3.9%	2.9%	3.9%	2.2%	1.2%	2.5%	3.1%	7.1%	4.2%	9.6%	8.6%	3.3%	0.0%
ウ	3.9%	5.7%	1.3%	0.0%	1.2%	2.5%	12.5%	10.7%	2.1%	4.8%	15.5%	5.6%	0.0%
エ	5.3%	8.6%	3.9%	4.4%	1.2%	7.6%	6.3%	16.1%	4.2%	9.6%	22.4%	8.9%	0.0%
オ	1.3%	0.0%	1.3%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	0.0%
カ	1.3%	2.9%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	3.8%	3.4%	2.2%	0.0%
無回答	2.6%	0.0%	81.6%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	61.3%	37.5%	1.0%	48.3%	78.9%	0.0%

問8. 問6、問7で「ア」を選んだ方にお聞きます。

訓練広報の内容は理解できましたか？

ア 理解できた	41.3%
イ あまり理解できなかった	6.4%
ウ 理解できなかった	1.0%

	泊	共和	岩内	神恵内	寿都	蘭越	二セコ	倶知安	積丹	古平	仁木	余市	赤井川
ア	60.5%	37.1%	63.2%	53.3%	35.7%	45.6%	50.0%	36.3%	68.8%	19.2%	34.5%	17.8%	69.0%
イ	6.6%	10.0%	7.9%	0.0%	3.6%	10.1%	18.8%	6.5%	6.3%	1.9%	8.6%	5.6%	0.0%
ウ	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	1.2%	1.3%	0.0%	1.8%	2.1%	0.0%	3.4%	1.1%	0.0%
無回答	18.4%	51.4%	28.9%	8.9%	58.3%	5.1%	31.3%	54.8%	27.1%	10.6%	53.4%	75.6%	27.6%

「イ」又は「ウ」を選んだ方にお聞きします。

問8-1. どのようにしたら理解できますか？

当てはまるものすべて記入してください。

ア	広報の内容を簡単にする、もっとわかりやすくする。	5.3%
イ	もう少しゆっくり話す	3.9%
ウ	緊迫感のある音声にする	3.0%
エ	その他	1.4%

	泊	共和	岩内	神恵内	寿都	蘭越	二セコ	倶知安	積丹	古平	仁木	余市	赤井川
ア	11.8%	1.4%	5.3%	0.0%	4.8%	7.6%	12.5%	3.0%	2.1%	1.0%	8.6%	12.2%	0.0%
イ	5.3%	5.7%	2.6%	0.0%	2.4%	10.1%	6.3%	3.0%	4.2%	1.0%	3.4%	5.6%	0.0%
ウ	5.3%	2.9%	1.3%	0.0%	1.2%	5.1%	3.1%	4.2%	4.2%	0.0%	8.6%	2.2%	0.0%
エ	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	2.4%	3.8%	3.1%	1.2%	0.0%	0.0%	5.2%	1.1%	0.0%
無回答	1.3%	1.4%	93.4%	0.0%	0.0%	2.5%	0.0%	91.7%	29.2%	0.0%	75.9%	83.3%	24.1%

問9. 携帯電話をお持ちの方にお聞きします。

今回の訓練に関する情報がメールで来ましたか？

ア	受信した	25.0%
イ	受信しなかった	35.1%

	泊	共和	岩内	神恵内	寿都	蘭越	二セコ	倶知安	積丹	古平	仁木	余市	赤井川
ア	21.1%	37.1%	13.2%	24.4%	8.3%	38.0%	12.5%	32.7%	35.4%	26.9%	22.4%	14.4%	34.5%
イ	40.8%	42.9%	38.2%	53.3%	13.1%	30.4%	43.8%	33.3%	35.4%	31.7%	41.4%	36.7%	37.9%
無回答	36.8%	20.0%	48.7%	22.2%	78.6%	24.1%	43.8%	32.1%	29.2%	41.3%	36.2%	48.9%	27.6%

「イ」を選んだ方にお聞きします。

問9-1. 携帯会社はどこですか？

ア	NTTドコモ	15.0%
イ	au	15.3%
ウ	ソフトバンク	4.2%

	泊	共和	岩内	神恵内	寿都	蘭越	二セコ	倶知安	積丹	古平	仁木	余市	赤井川
ア	21.1%	14.3%	17.1%	20.0%	3.6%	17.7%	12.5%	10.7%	14.6%	17.3%	13.8%	21.1%	17.2%
イ	11.8%	24.3%	14.5%	24.4%	6.0%	13.9%	25.0%	18.5%	18.8%	11.5%	19.0%	7.8%	17.2%
ウ	6.6%	4.3%	2.6%	6.7%	1.2%	1.3%	3.1%	5.4%	0.0%	1.0%	10.3%	7.8%	3.4%
無回答	1.3%	0.0%	65.8%	0.0%	2.4%	3.8%	9.4%	64.9%	31.3%	2.9%	56.9%	63.3%	27.6%

問9-2. 受信できなかった原因は何だと思いますか？

ア	電源を切っていた	4.0%
イ	電話中だった	1.4%
ウ	メール中だった	0.0%
エ	圏外だった	0.5%
オ	わからない	25.8%

	泊	共和	岩内	神恵内	寿都	蘭越	二セコ	倶知安	積丹	古平	仁木	余市	赤井川
ア	3.9%	1.4%	5.3%	6.7%	1.2%	5.1%	6.3%	4.8%	2.1%	5.8%	0.0%	5.6%	0.0%
イ	0.0%	1.4%	3.9%	0.0%	2.4%	0.0%	3.1%	0.0%	2.1%	2.9%	1.7%	1.1%	0.0%
ウ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
エ	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	0.0%
オ	32.9%	35.7%	25.0%	44.4%	8.3%	27.8%	21.9%	27.4%	27.1%	18.3%	27.6%	23.3%	24.1%
無回答	0.0%	2.9%	65.8%	0.0%	0.0%	1.3%	18.8%	66.7%	33.3%	4.8%	69.0%	66.7%	31.0%

お手持ちの携帯電話を購入したのはいつごろですか？（平成 年頃）

	H12前	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	合計
台数	48	3	5	16	8	8	21	25	66	35	51	43	47	376
無回答														

問10. 原子力防災訓練について福島第一原発事故その対応を踏まえ、今後どのような訓練が必要だと思いますか？
 当てはまるものすべてを選んでください。

- ア 事故影響の広域化を想定した訓練の実施 50.5%
- イ 事故の長期化を想定した訓練の実施 36.8%
- ウ 複合災害の発生などを想定した訓練の実施 45.7%
- エ 災害時要援護者の搬送訓練の実施 35.5%
- オ 役場などが移動する訓練の実施 26.7%
- カ その他 3.9%

	泊	共和	岩内	神恵内	寿都	蘭越	二七コ	倶知安	積丹	古平	仁木	余市	赤井川
ア	67.1%	51.4%	53.9%	48.9%	25.0%	60.8%	25.0%	55.4%	50.0%	48.1%	46.6%	51.1%	58.6%
イ	43.4%	48.6%	40.8%	42.2%	13.1%	39.2%	28.1%	42.9%	31.3%	24.0%	37.9%	40.0%	51.7%
ウ	63.2%	52.9%	39.5%	48.9%	17.9%	53.2%	25.0%	47.6%	68.8%	42.3%	41.4%	46.7%	44.8%
エ	53.9%	31.4%	40.8%	35.6%	10.7%	39.2%	28.1%	32.7%	22.9%	39.4%	36.2%	46.7%	37.9%
オ	36.8%	22.9%	39.5%	26.7%	16.7%	34.2%	25.0%	25.0%	27.1%	20.2%	25.9%	25.6%	24.1%
カ	5.3%	4.3%	0.0%	2.2%	4.8%	5.1%	0.0%	3.0%	4.2%	5.8%	6.9%	1.1%	10.3%
無回答	10.5%	12.9%	23.7%	20.0%	58.3%	20.3%	37.5%	20.8%	8.3%	26.9%	24.1%	24.4%	20.7%



原子力防災のしおり

緊急時の応急活動体制と皆さまがとるべき行動について

泊発電所で事故が発生し、**大量の放射性物質が放出される恐れがある場合**、道や関係町村、国では、**住民の皆さまがとるべき行動をテレビ、ラジオ、防災行政無線などを通じてお知らせします。**

屋内退避やコンクリート屋内退避、避難の**防護対策は、早め早めに実施されますので**、住民の皆さまはうわさや憶測に惑わされず、道や関係町村の指示に従って落ち着いて行動してください。

関係町村：泊村・共和町・岩内町・神恵内村・寿都町・蘭越町・二セコ町・倶知安町・積丹町・古平町・仁木町・余市町・赤井川村

応急活動体制	北海道や関係町村の取り組み	皆さまがとるべき行動
初期レベル 事故が発生していますが、放射性物質の外部への影響はありません。	初期活動体制（第1非常配備） <ul style="list-style-type: none"> ○ 関係職員による情報収集 ○ 関係機関への通報連絡 ○ 緊急時モニタリングの開始 ○ 災害広報の開始 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特別な行動は必要としません。 ○ 災害広報に注意してください。
警戒レベル 状況によって、発電所敷地外に放射性物質が放出される恐れがありますので、対策実施の準備をします。	警戒本部の設置（第2非常配備） <ul style="list-style-type: none"> ○ 情報収集・通報連絡・広報 ○ 避難等の対策実施の準備 ○ 緊急時モニタリング活動 ○ 緊急被ばく医療活動の準備 ○ 交通規制の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 無用な外出を控え、災害広報に注意してください。
緊急事態レベル 放射性物質の放出に備え、防護対策区域を決定し、各種対策を実施します。	災害対策本部の設置（第3非常配備） <ul style="list-style-type: none"> ○ 情報収集・通報連絡・広報 ○ 避難等の対策実施 ○ 緊急時モニタリング活動 ○ 緊急被ばく医療活動 ○ 交通（立入）規制の実施 <p>道や関係町村、国などによる原子力災害合同対策協議会が設置され、各機関が情報を共有しながら連携して、迅速かつ的確な対策を実施します</p> <p>防護対策区域 放射性物質の影響が及ぶ、または及ぶおそれがあり、屋内退避、コンクリート屋内退避、避難等の対策が立てられる区域のこと</p>	<p>【防護対策区域の皆さま】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 関係町村の指示に従い、避難等を行ってください。 <p>指示があるまで外出しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 災害広報に注意してください。 <p>【その他の区域の皆さま】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 無用な外出を控え、災害広報に注意してください。

◆事故の発生などのお知らせがあったら…

初期レベル

警戒レベル

緊急事態レベル

《行政は…》

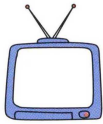
万が一、泊発電所において事故などが起こった場合、道や関係町村、国から、テレビ、ラジオ、防災行政無線など様々な手段を使って、皆さまのとりべき行動など必要な情報を速やかにお知らせします。

《皆さまは…》

うわさや憶測に惑わされないで、道や関係町村、国からの情報にしたがい、落ち着いて行動してください。

ポイント

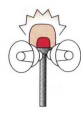
- 1 テレビ、ラジオの緊急放送やインターネットを通じて災害情報を入手してください。
- 2 有線放送、防災行政無線、広報車及び漁業無線などの災害情報に注意してください。
- 3 近隣や町内会の人たちと情報を共有してください。
- 4 正確な情報を入手し、うわさや憶測で行動しないでください。
- 5 緊急を要する電話以外、電話の使用は極力控えてください。



テレビ



ラジオ



防災行政無線



広報車



漁業無線



あわてずに



電話は控えて

◆屋内退避の指示が出されたら…

緊急事態レベル（防護対策区域内の皆さまに指示が出されます。）

放出された放射性物質が少ない場合には、自宅など建物の中に入るだけでも、放射線による被ばくを少なくすることができます。

《皆さまは…》

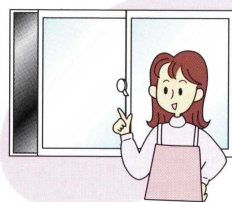
すぐに自宅などの屋内に入り、外へ出ないでください。（すぐに自宅へ帰れない場合は、最寄りの公共施設などに入ってください。）

ポイント

- 1 屋内に入ったら、すぐに手や顔を洗いましょう。
- 2 必要に応じシャワーを浴びるなど、身体を洗い流しましょう。
- 3 ドアや窓、換気扇を閉めて、外の空気が入らないようにしましょう。
- 4 食べ物はフタをしたり、ラップをかけましょう。
（家にある食べ物は食べても問題ありません。）
- 5 避難などに備え、貴重品や着替用衣などの最小限の持ち物（携行品）を用意しましょう。
- 6 落ち着いて、新しい指示や正確な情報を待ちましょう。



外から帰ったら、顔や手を洗う



ドアや窓を全部閉める



換気扇を止める



食品にふたをしたり、ラップをかける

◆コンクリート屋内退避または避難の指示が出されたら…

緊急事態レベル（防護対策区域内の皆さまに指示が出されます。）

コンクリートでできた建物の屋内は、木造の建物よりも放射線の遮へい効果が大きく、気密性も高いため、放射線による被ばくをより少なくすることができます。

《行政は…》

発電所の状況やモニタリングデータ等による予測に基づき、コンクリート屋内退避や避難の防護対策を早め早めを実施します。

コンクリート屋内退避や避難の措置は、放射線の影響を受けやすい妊婦、乳幼児、児童・生徒、高齢者など援護の必要とされる方を優先して行います。

《皆さまは…》

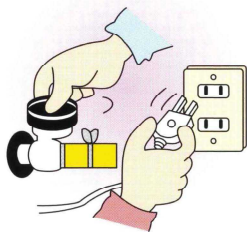
コンクリート屋内退避または避難の指示は、予防的、先行的に出されますので、あわてず落ち着いて行動してください。

仕事や外出中などで、どこに集合すれば良いかわからない場合は、役場や警察等の指示にしたがってください。

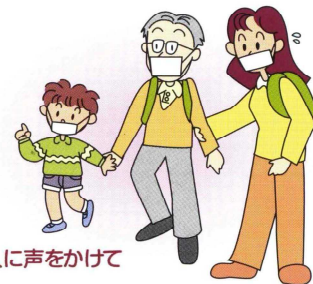
ポイント

- 1 あわてずに指示内容をよく聞きましょう。
- 2 ガスの元栓をしめ、電気製品のコンセントを抜くなど火の元に注意しましょう。
- 3 冬期間は、ストーブを消し、水道の水落としも忘れずにしましょう。
- 4 マスク・外衣等を着用し、用意した携行品を持ちましょう。
- 5 家を出るときは、窓やドアなど戸締まりを忘れないようにしましょう。
- 6 近所の人と声を掛け合い、お年寄りや病気の方、体の不自由な方を助けながら、お互いに協力して避難しましょう。
(退避または避難が困難な方は、役場に連絡してください。)

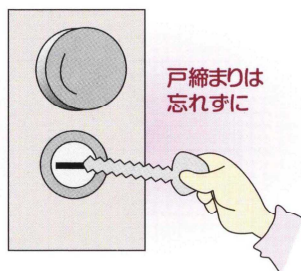
ガスの元栓をしめ、
コンセントを抜く



マスクや外衣を着用して、
持ち物は最小限にする



近所の人に声をかけて



戸締まりは
忘れずに



歩いて集まりましょう

◆水や食べ物の摂取制限が出されたら…

緊急事態レベル

《行政は…》

泊発電所で事故が発生した場合、環境の放射線のほか、水や食べ物などの放射能についてもモニタリングを実施します。

放射性物質の放出によって飲料水や農作物などの飲食物に影響が出るおそれのある場合には、これらの飲食を制限したり、汚染農作物等の採取、出荷を禁止することがあります。

《皆さまは…》

指示に従い、汚染のおそれのある飲料水、飲食物を飲んだり、食べたりしないでください（家の中に保管してあるものは問題ありません）。

安全が確認され次第、制限を解除します。



◆もしもの場合に備えて、普段から準備出来ることは…

《皆さまは…》

避難場所では必要な物資が準備されますが、避難・退避等に役立つものや必要なものは日頃から1か所にまとめておきましょう。

また、家族が離ればなれに避難しなければならないことがあるかもしれません。もしもの場合に備え、連絡方法を決めておくなど、日頃から家族で対応を話し合っておくことが大切です。

ポイント

- 1 必要なものは1か所にまとめておきましょう
- 2 もしもの場合の対応について、日頃から家族でよく話し合しましょう
- 3 地域の集合場所や避難所を覚えておきましょう
(わからない場合は役場に確認してください。)

<p>日ごろから準備しておきたいもの</p>	<p>貴重品</p> <p>現金、通帳、印鑑、健康保険証など</p>	<p>非常食品</p> <p>水、非常食品</p>	<p>応急医薬品</p> <p>常備薬、ハンソウコウなど</p>	<p>衣類等</p> <p>着替え、タオル、生理用品など</p>	<p>乳児用用品</p> <p>紙オムツ、粉ミルク、ほ乳びんなど</p>
<p>携帯ラジオ、懐中電灯</p> <p>乾電池も忘れずに</p>	<p>携帯電話</p> <p>充電器も忘れずに</p>	<p>日常生活に欠かせないもの</p> <p>眼鏡、入れ歯、補聴器など</p>		<p>避難時などに使用するもの</p> <p>マスク、ハンカチ、外衣、リュック、キッチン用ラップ、ガムテープなど</p>	

このしおりは、泊発電所で事故が発生し、放射性物質が放出されるおそれがある場合に、皆さまがとるべき行動について記載しています。家族全員が目につく場所に保管し、もしもの場合に活用してください。

発行責任者 北海道総務部危機対策局原子力安全対策課
 住所 札幌市中央区北3条西6丁目
 電話 011-204-5011